



リサイクルQ&A



Q: 自動車リサイクルって何？

今回は自動車リサイクルについてご紹介します。

平成 17 年 1 月 1 日から始まります！



A: 使用済自動車（廃車）から出る有用資源をリサイクルして環境問題への対応を図るために、自動車リサイクル法が施行されました。

- 今年中に新しく車を買換える場合……… 購入した車の最初の車検時にリサイクル料金が加算されます。
- 来年以降、車を購入する場合……… 新しく購入した車代金にリサイクル料金が科せられます。
- 現在使用している車を来年に廃車する場合…… 廃車時にリサイクル料金が科せられます。
- 現在使用している車を来年以降に買い換える場合…… 現在使用している車と新しく購入する車の両方にリサイクル料金が科せられます。

※リサイクル料金は6千円から1万7千円程度の範囲で設定してありますが、各メーカーや車種ごとに料金が異なりますので、詳しくは最寄りの自動車整備工場へたずねるか、各メーカーのホームページをご覧ください！

- トヨタ <http://www.toyota.co.jp/index.html>
- ホンダ <http://www.honda.co.jp/auto-recycle/>
- 日産 <http://www.nissan.co.jp/ENVIRONMENT/>
- マツダ <http://www.mazda.co.jp/recycle/>
- いすゞ <http://www.isuzu.co.jp/company/eco/recycle/index.html>
- 三菱 <http://www.mitsubishi-motors.com/corporate/j/index.html>

平成 17 年 1 月 1 日以降は、自分の所有地であっても使用済自動車の野積みや放置車は不法投棄扱いとなります。

《問い合わせ先》大崎町役場福祉保健課環境係 TEL 76 - 1111 内線 145



保健師だより

『インフルエンザ予防接種を受けましょう!』

朝晩冷え込むようになりまして、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
毎年のように、12月から3月にかけてインフルエンザが流行ります。インフルエンザは、暮らしの感覚からすれば、『ひどいカゼ』とか『じれったカゼ』といった

感じでしょうか。
しかし、インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染によって起こる呼吸器の病気で、他のウイルスによつて起こる『カゼ』とは違います。
最も一般的なインフルエンザの症状は、突然の高熱、関節痛、筋肉痛、頭痛などです。普通のカゼに比べて全身症状が強いのが特徴です。そのため、高齢者がかかると肺炎になり、持病を悪化させたりして病気が重くなる場合があります。また、インフルエンザと関連があると考えられていて、小さな子供では、ごくまれに脳炎や脳症が起ることとがあります。『カゼは万病のもと』とはよく言ったものです。

予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間ほどかかります。またその効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。そのため、毎年インフルエンザが流行する前の11月頃までに予防接種を受けておくことが、必要です。成人の場合だとインフルエンザの発病阻止率は70〜90%ぐらいと言われています。この数字をみると、完全には予防できないと感じる方もいるのではないかと思います。が、予防接種とは、病気にかかりにくくしたり、かかっても重くならないようにすることが目的だとご理解ください。そのため、高齢者の方は進んで予防接種を受けることが大切です。

また、「赤ちゃんは何か月から接種できるの?」とよく質問をうけますが、何か月からでも接種は可能です。ただし、子供の場合は年齢によつて接種量が違いますので、お医者さんにきちんと子どもさんの年齢を伝えましょう。
ちなみにインフルエンザワクチンを接種しても『カゼ』にはかかりませんので、外出後は手洗い、うがい、マスク、部屋の湿度は高く保つなどの予防法も組み合わせながら、元気にこの冬を乗り越えましょう。

健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL 76 - 1111 (内線 146・147)